

3号様式の1

排出量削減計画書

		☒ 新規 ☐ 変更	
(宛先) 京都府知事		令和 8 年 9 月 4 日	
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府久世郡久御山町森中内116-1		氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社 デューイテクニカル 代表取締役 秋山 直樹 電話 075 - 633 - 6800	

主たる業種	電気通信・信号装置工事業	細分類番号	0	8	2	3					
事業者の区分	☒ 産業部門 主たる業種を元に右記部門から該当するものを選択 ☐ 業務部門 ☐ 運輸部門										
計画期間	令和8年4月 ～ 令和11年3月										
基本方針	電気・電気通信工事業に係わる全ての事業活動において環境影響を改善するために、環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。										
計画を推進するための体制	KES委員会にて、温室効果ガス削減計画の進捗管理を徹底する。										
削減率											
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (5～7) 年度		第1年度 (8) 年度		第2年度 (9) 年度		第3年度 (10) 年度		3年平均増減率 (基準年度比)	
	事業活動に伴う排出の量	25.5	トン	23.5	トン	23.2	トン	23.0	トン	-8.9	パーセント
	グリーン電力証書や非化石証書等の購入によるもの削減量	0.0	トン	0.0	トン	0.0	トン	0.0	トン		
	評価の対象となる排出の量	24.5	トン	23.5	トン	23.2	トン	23.0	トン	-5.2	パーセント
	年度ごとの増減率 (基準年度比)			-4.1	%	-5.3	%	-6.1	%		
	目標の根拠	基準年度の温室効果ガス排出量実績を踏まえ、事務所の電気使用量及び工事・営業車両の燃料使用量を継続的に把握する。照明・空調設備及びOA機器の適正運用、LED化、エコドライブ並びに移動の効率化を重点対策とし、計画期間3年間で基準年度比約10%の温室効果ガス排出量削減を目標とする。									
具体的な取組及び措置の内容	1年目	電気使用量及び車両の燃料使用量を毎月確認し、使用実績を社内で共有する。不要な照明の消灯、空調の適正温度管理、OA機器の省電力設定及び未使用時の電源オフを徹底する。また、急発進・急加速の抑制、アイドリングストップ、効率的な移動経路の選定に取り組み、従業員への周知・教育を実施する。									
	2年目	照明設備のLED化を計画的に推進し、空調設備やOA機器の更新時には省エネルギー性能の高い機器を優先して選定する。車両更新時には低燃費車等の導入を検討するとともに、オンライン会議、電子承認及び電子データ共有を活用し、移動並びに紙使用の削減を進める。月ごとの使用実績を基準年度と比較し、取組効果を確認する。									
	3年目	電気使用量及び燃料使用量の推移を定期的に分析し、目標に対する進捗が不十分な項目について運用方法を見直す。LED化及び高効率機器への更新を継続するとともに、再生可能エネルギー由来電力の調達可能性を検討する。3年間の取組結果を整理し、次期計画に反映することで継続的な排出量削減を図る。									
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	省エネルギー及び脱炭素に関する社内教育を実施し、従業員の環境意識向上を図る。また、見積書・請求書・工事関係書類等の電子化、両面印刷及び再生紙利用を推進して紙使用量を削減するとともに、地域の環境保全活動への参加・協力を進める。										
特記事項											

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
2 「細分類番号」とは、統計法（平成19年法律第53号）第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量の平均をいいます。